

通級指導教室における 指導と連携



都留市立谷村第一小学校

ことばと発達のサポートルーム「かがやき」

中野 恵子

特別な教育的支援が必要な児童生徒について

学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒

小中学校 8. 8%

高等学校 2. 2%

全ての学級に特別な教育的支援が必要な児童生徒が在籍している可能性がある。

通級による指導について

大部分の授業を小・中学校の通常の学級で受けながら、一部、障害に応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態で、障害による学習上または生活上の困難を改善し、または克服するため、特別支援学校学習指導要領の「自立活動」に相当する指導を行う。

自立活動の内容（6区分27項目）

- 1 健康の保持（5項目）
- 2 心理的な安定（3項目）
- 3 人間関係の形成（4項目）
- 4 環境の把握（5項目）
- 5 身体の動き（5項目）
- 6 コミュニケーション（5項目）

実施形態・指導時数

実施形態

- 自校通級
- 他校通級
- 巡回指導

指導時数

週 1 単位時間～週 8 単位時間

(学習障害、注意欠陥多動性障害は月 1 単位時間【年 10 単位時間】が下限)

山梨県内の通級指導教室 (令和5年度)

○言語障害通級指導教室 (小学校1校)

○発達障害・情緒障害通級指導教室 (小学校4校、中学校4校)

○言語障害、発達障害・情緒障害通級指導教室

(小学校14校、中学校5校)

○難聴への通級による指導 (ろう学校)

○高等学校における通級指導

(ひばりが丘高等学校・中央高等学校)

都留市の通級指導教室

ことばと発達のサポートルーム『かがやき』

○平成19年度開設

発達障害・情緒障害通級指導教室

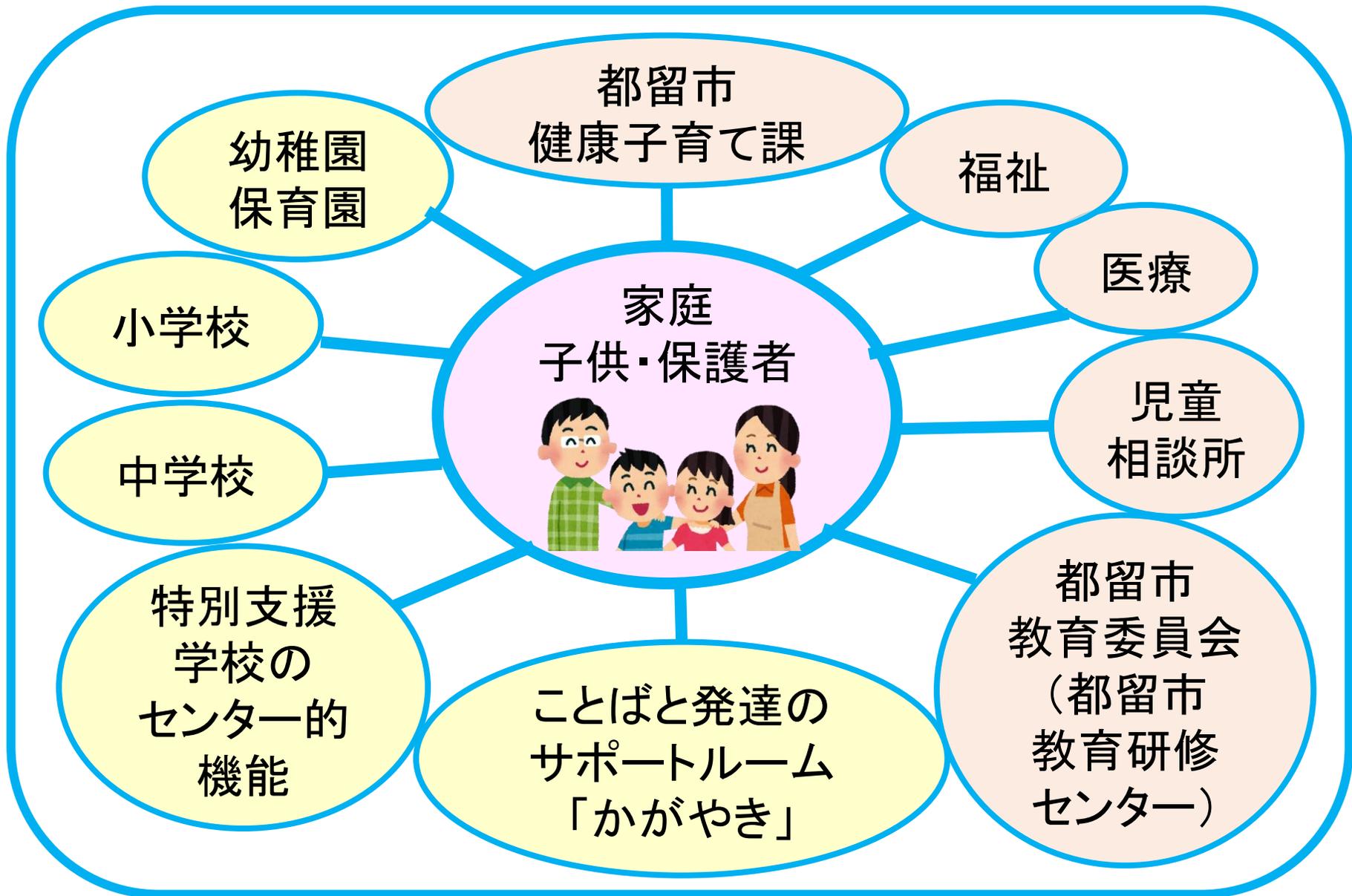
○平成26年度以降

言語障害、発達障害・情緒障害通級指導教室

平成29年度から、自校・他校通級の他に

巡回指導も行うようになった

支援の連携



通級指導教室でできる連携（就学時）

○保護者、幼稚園・保育園、保健士さんからの就学についての相談は、都留市教育委員会（都留市教研修センター）が中心に進める。

福祉、医療、児童相談所との連携もあり。

○必要に応じて、通級指導教室でも相談を受ける。

○通級指導に該当する年長児は、9月下旬ごろから、通級指導やお試し通級を行う。

通級指導教室でできる連携（小中学校）

- 特別支援教育コーディネーターとの連携。
（各校の特別支援教育の中心）
- 必要に応じて担任、保護者と相談。

【通級児童生徒】

- 保護者、担任に指導記録を渡して情報共有。
- 保護者、担任との面談。
- ケース会議への参加。
- 外部機関との面談。

指導について

- 1対1の個別指導が基本。
- 必要に応じて、条件が整えば、グループ指導も行う。
- 自分の良さに気づき、自信がもてるような活動に取り組む。

ことばの指導

正しい音を聞き分けたり、真似をしたりする

口や舌の運動の調整

発音・発語の練習



吃音のある自分との向き合い方

特定の学習が苦手な子供の指導

【聞く】

- ・なぞなぞ
- ・スリーヒントクイズ
- ・伝言ゲーム

【話す】

- ・話したいことのメモ作り
- ・書いたものを見ながら話す
- ・語彙を増やす

【読む】

- ・音韻意識を育む
- ・文字と音を一致させる
- ・文にスラッシュを入れる
- ・リーディングスリットを使う
- ・キーワードに印をつける
- ・ポイントになる文に線を引く



特定の学習が苦手な子供の指導

【書く】

- ・形を正しく覚えたり記憶したりするゲーム
- ・漢字はパーツに分けて覚えたり、語呂合わせで覚えたりする
- ・迷路、点つなぎ

【計算】

- ・ゲーム的な問題を使った四則計算
- ・計算がしやすいノートの使用

【推論】

- ・図形やパズル(空間認知を育む)
- ・体を動かす活動など
(上下左右の位置関係を知る)



集中して取り組めない子供の指導

活動や学習のめあて、
流れを明示して見通し
を持たせる。

興味関心を持てる
課題に取り組ませ、
少しでも集中でき
る時間を増やす。



- ・途中経過を肯定的に評価する。
- ・集中できた！という達成感を味わわせる。

感情のコントロールが難しい子供の指導

・感情を表す言葉を知る。

・自分の気持ちを言葉で伝える練習をする。

・好きなこと得意なことに取り組み、心の安定を図ったり自信をつけたりする。

・気持ちが落ち着かなくなった時の気持ちの切り替え方を知る。
・一緒に練習する。



人との関わりが苦手な子供の指導

- ・本人が関心を示すゲームや運動などを一緒に行うことで、人と関わる楽しさを経験させる。

- ・友達と関わるときに使える言葉を知り、使う練習をする。

- ・できれば、小グループの活動も取り入れる。



通級指導の課題について

○入級希望者の増加。

○継続希望者の増加。

○相談時間の確保。

○進学時（幼保から小、小から中、中から高）の引継ぎ。

○担当者の指導力の向上。

子供たちの成長を願って

子供たちはだれもが、友達と楽しく学校生活を送りたい、勉強が分かるようになりたいという気持ちを持っていると思います。

その気持ちに寄り添いながら、保護者や担任の先生また外部機関の方とも連携を図り、子供たちの成長を願って支援していききたいと思います。

